

クリエイターズ・ヘッド、Project Capsulerを発表

2009年5月18日、株式会社クリエイターズ・ヘッド（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：宮野美英）は本日、情報漏洩対策ソリューション「Project Capsuler（プロジェクトカプセラー）」を発表しました。

近年、個人情報漏洩は増加の一途をたどっており、その主な原因のトップ5全てが「内部犯行・内部不正行為」であるという報告が出ています（※1）。加えて、オフショア開発の需要増加とともに、委託先からの情報漏洩も社会問題として深刻視されています。これら情報漏洩インシデントの共通の原因として挙げられるのが「内部犯行・内部不正行為」です。また、誤操作による個人情報漏洩が増加傾向にあるという最新のデータも出ております（※2）。これら「内部犯行・内部不正行為」や「誤操作」からの情報漏洩に対応し、さらに既存のセキュリティ製品が与える「導入後の通常業務への負荷」をも考慮し、Project Capsulerを開発いたしました。

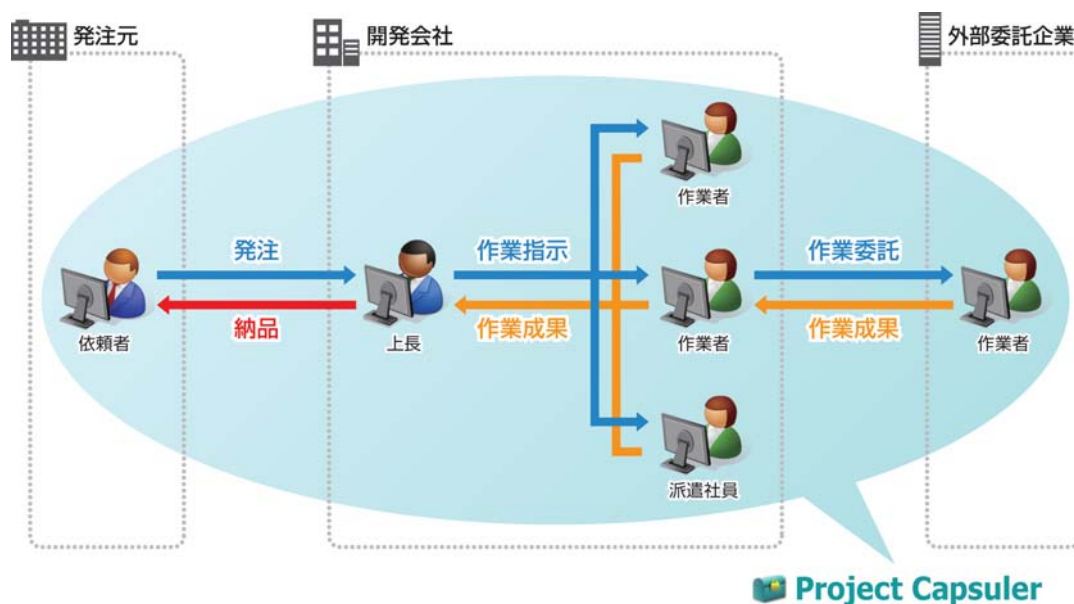
※1 2007年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書(日本ネットワークセキュリティ協会)

※2 2008年上半期情報セキュリティインシデントに関する調査報告書(日本ネットワークセキュリティ協会)

この度発表したProject Capsulerは、独自に開発したJamesエンジンを搭載しており、あらかじめ業務に必要なアプリケーションと作業するフォルダ（ジョブスペース）を設定することで、許可された業務は今まで通り行え、不正行為のみをブロックすることが出来ます。Project Capsulerを導入することで、「そもそも情報が漏洩しない環境」を作業員に対し提供することが出来ます。これにより、依頼者は作業員を疑う必要が無く、また作業員は依頼者から疑われることの無い健全な業務空間を構築することが可能です。

■開発コンセプト

従来のセキュリティ商品のように、データ単体やPC単体の情報を守るといった一過性のセキュリティではなく、「作業の依頼者、指示者、作業員」や、「作業の依頼、作業、納品」といった運用フロー全体を包括的に保護できるセキュリティ。



当社ではこの保護された環境を「安心業務空間」と称しています。

■特徴

従来のセキュリティ商品は、重要なデータとそうでないデータを区別せずに同じレベルのセキュリティを掛けるものが多く（HDD丸ごと暗号化など）、オーバーヘッドの増加を強いるものが殆どでした。Project Capsulerは、重要な情報に対し不正行為を行った場合のみ動作する為、導入のオーバーヘッドは非常に少なくすみます。

■機能概要

大事なデータがあるフォルダを「ジョブスペース」に設定。
ジョブスペース内のデータを守ります。



■動作環境

Windows XP Professional Edition(SP2)

■Jamesエンジンについて

Jamesエンジン(Job Automation Encapsulating Security Engine)は、株式会社クリエイターズ・ヘッドが開発した場所認証技術（特許申請中）です。あらかじめ、重要な情報を実行する領域とやり取りする相手先領域を決めておくことで、持ち出し出来ない状態（カプセル環境）で作業を行い、情報を受け渡す際には、自動で、相手先の領域でしか開封出来ない情報（カプセルファイル）に変換することを実現します。このカプセル化技術を用いることで、内部情報漏洩を防ぐだけでなく、情報の誤送信やハッキングなどの脅威からの情報漏洩も防ぐことが可能です。幅広い分野に応用可能なコアテクノロジーとして、様々なソリューションに用いられています。

■価格と販売について

販売代理店に関しては、近日ウェブサイトにて掲載させていただきます。
また、引き続き代理店を募集しております。

■お問い合わせ先

株式会社クリエイターズ・ヘッド
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-14-3 ilusaビル
TEL 03-3518-2300
FAX 03-3518-2393
<http://www.creatorshead.co.jp>